

平成 29 年度

第 12 回総務経済常任委員会会議録

平成 29 年 12 月 7 日

宍 粟 市 議 会

平成29年度第12回総務経済常任委員会会議録

日 時 平成29年12月7日(木曜日)

場 所 現地確認、宍粟市役所503会議室

開 会 12月7日 午後1時00分

次 第

1. 協議・審査事項

(建設部)

第114号議案 市道路線の認定及び変更について

現地踏査 市道認定路線

第78回宍粟市議会定例会付託案件討論及び採決

出席委員

委員長	飯田吉則	副委員長	田中一郎
委員	津田晃伸	委員	大久保陽一
〃	田中孝幸	〃	東豊俊
〃	西本諭		

出席説明員

(建設部)

建設部長	花井一郎	建設部次長	福岡清志
建設部次長兼地域建設課長	寺田美喜也	建設部次長兼都市整備課長	太中豊和
建設課長	井口靖規	建設課副課長	谷口宗男
建設課工務係主幹	小林洋二		

事務局

係 長 岸元秀高

(午後 1時00分 開会)

【13:00 ~ 16:30 「第114号議案 市道路線の認定及び変更について現地調査を実施」】

飯田委員長 大変御苦労さんでした。第114号議案にあります市道路線の認定及び変更についての現地調査ということで、大変お疲れでございました。

それでは、まず、この分について論点というものもう出てますので、その分についてだけ少し見てみたいと思います。

まず、認定基準とか、審査基準について、なぜ認定とか、なぜ変更とかいう部分について、きょう、車の中でもいろいろと井口課長のほうからありましたように、御説明をお聞きになったものと思いますので、それで、大体のところは理解されておるといいます。また、この認定と変更の優先順位でありますとか、その公平性とかいうものにつきましても、理由の中の部分について説明がありましたように、今回も恐らく認定をはねられたという部分、受け付けなかったという分はないというようなことを言ってましたように、ほぼ満たされたものについて出てきているというふうなことであろうかなというふうに思います。

最終的に本会議の議案質疑にもありました、山田下広瀬線のもともとの都計道路というもののことですが、最初からのものといえば計画変更が出てきておるとい部分についての、事業認可についてということでしたけども、都計道路でありながら、県への申請とかをしない形での市道という形になるということで、都市計画税が使われないというような形のものであるという部分でございます。

きょう見てもらったように、計画に上がっておりながら、コスモスであるとか、マンションであるとかができてしまっていると、基本的には、道路がもし真っすぐにつくとなれば、その部分について、立ち退き要求をしますよという前提のもとに、物を建てておるねんですけども、のいてもらおうと思えば、補償せなあかんということになりますので、なかなかその辺については、財政的にも難しいかなという部分での計画変更という形であるという説明があったと思います。

その辺について、自由討議という形で、皆さんの御意見を伺いたいと思うんですけども、何か御意見ございますか。

よろしいですか。

強いて言えば、もともとの都市計画がある意味行き詰まった状態ですとときとるという中でのこの都市計画の道路であるとか、特に山崎の町域の中で、道路のこれから先々のことについて、もうちょっときちっとしたプランを立てていかなければ、

こう行ってこっちが詰まってくるからちょっとこっちのほうとかいうんじゃないし、もうちょっと体系的にもっと早くやっとなあかんのちゃうかなというようなことを、委員会の中でも言いよると思うんやけども、それが、表向きにどうなのかな。

津田委員。

津田委員 きょう、視察行ったんですけど、本来は、計画段階で視察に先に行っとかなあかんのちゃうかなと思ったんですけど、もう実際に工事始まってんじゃないですか。計画が出たのだけここにこうつけよう思うんですで行くべきなんじゃないかなと、途中でもう一回行くなり、それが本来の手順ちゃうかなと思ったりもしたんですけど。

飯田委員長 基本、今、きょう回ったこの都計道路と以外は、ほとんど今までの順につながっていきよる道路がほとんどやと思うんです。全然工事にかかってない新たにこここうしますよというのは、だから、きょう行ったように、例の下広瀬線との山田の線と交わる道路なんて、まだ何も無いところを認定してそこにしていこうというような形なんで、それについては、今、津田委員が言われた状況で、今からどういう形にするかという設計ができてきて、こっちまた回ってきてというような形なのかなと思うのですけども。

今の山田下広瀬線にしても、まだ今から設計入ってきて、どんな形になるかという部分で、この辺にこうしたいというだけのとこの認定やったと思うので、先の長い話だけ。

大久保委員 葛藤だね。

飯田委員長 ちょっと絵で見たら、すごい曲がっとなるようだけど、なってしもたらすっところ緩やかに流れる状況になるんやと思うやけども。すっとした道ではないわな。

それも含めて、計画がやっぱり後手に回っとなるいうたらおかしいんやけど、やっぱり予算もあろうけども、その辺がきっちりやったるんやけどもできてない部分が多いので、余計そういうことが起きてくるんかなと思います。

自由討議が終わって、あとは討論。それぐらいで意見はございませんか。

(「なし」の声あり)

飯田委員長 じゃあ討論ということで、もしございましたら。

(「なし」の声あり)

飯田委員長 ないですか。

今回の認定に際して、特に所見をというようなことはよろしいですか。

東委員。

東委員 特にはなけどね、委員長。今、委員長の話のとおりで、やっぱり、まだちょっと計画性というか、そういうプランというか、その辺がちょっとまだ弱いところがあるので、先取り、先取りというか、それやっぱり、先を見越すようなことをやっぱりしとかないかん、今後においては、きょう現在どうこうなるものじゃないので、そういうことをしっかり持っておいてもらいたいということですね。それしかない。

飯田委員長 ほかには、そんなもんですか。

大久保さんよろしいですか。

大久保委員。

大久保委員 ある程度、計画立てたんやっつてしまわんと、さっきの下広瀬線じゃないけど、いろんな変わってってしまうというか、計画があっても、余りにもそういう長い年数たってしもたら、周りが変わってしもうて、思ったんと違う形になってくるんですね。それもあるな。

飯田委員長 その辺、もし最終的に採決でどちらに転んでも、その辺を言っておくということもできる。

大久保委員 計画立てたら早い目に。

飯田委員長 してくださいと。

わかりました。これで、討論を終了します。

(「異議なし」の声あり)

飯田委員長 それでは、建設部関係の第114号議案、市道路線の認定及び変更について採決を行います。

今回の第114号議案に対して、賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

飯田委員長 全会一致で賛成ということをお願いします。可決です。

所見のところそういう形で、今回の山田下広瀬線のような、要は、都市計画道路がちょっとある程度変更になるようなことが、これからもできるだけないように、なるべく計画したものについては、速やかにできる方向で進めてもらいたいと、そういう言い方がええんじゃろか。計画、どないな書き方したらええんだろ。その辺事務局と考えると、その辺ちょっとだけつけ加えさせていただきます。

それでよろしいでしょうか。

(全員了承)

飯田委員長 それでは、本日の審査会終わらせていただきたいと思います。御苦労さまでした。

田中一郎副委員長 それでは、きょう、1時から長時間にわたりました、御苦労さまでした。これで第12回常任委員会終わります。

どうも御苦労さまでした。

(午後 4時53分 閉会)

宍粟市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

宍粟市議会総務経済常任委員会 委員長 飯 田 吉 則